



創世会
山本裕三

引きこもりの方やご家族への相談支援は

Q 子ども・若者育成支援推進法に基づき当市において、子ども・若者育成支援についての計画の作成や、子ども・若者支援地域の協議会の設立が必要であると考えますが、今後の当市の引きこもりの方やご家族への支援について伺う。

A 子ども・若者育成支援推進法は、子どもや若者の育成支援の枠組みを整備し、引きこもり、不登校などの子どもや若者の地域支援ネットワーク整備を図るために制定されました。今後は、子どもや若者の育成支援の計画策定に向けた検討を進めるとともに、関係機関の情報交換や支援内容協議を行う地域協議会の設立に向けた検討を進

財政面においても持続可能な社会を目指して

めていきます。

Q 合併算定替えの終了や法人市民税の減税による収入の減収、合併特例債の令和7年度の終了に加え人口減少、社会保障費の増加等不安要素があるなかで、将来の財政を見越した新しい行財政改革プランをうちたてる必要があると考えるが見解を伺う。

A 現在実施中の事業は確実に完了させ、今後実施すべき事業は優先順位を付け、合併特例債を活用すべき事業は優先的に予算計上し、合併特例債が終了しても必要な投資ができるよう、行財政改革を行い、財源確保について今まで以上に職員の意識を高めることが重要です。

「公益財団法人 掛川市生涯学習振興公社」の今後は



志誠会
草賀章吉

Q 掛川市生涯学習センター、美感ホール、文化会館シオーネ3つの文化ホールの指定管理委託期限を来年3月末と定め、公社のあり方について検討していると思うが、方針・課題を伺う。

A 公社のあり方を見直す場合、課題として、近隣の指定管理施設と比較して管理費に占める人件費の割合が高いこと、また、市の100%出資法人である公社職員の身分を保障する必要があることなどがあげられます。

健康ふれあい館「シートピア」を今後どうするのか

Q 平成10年設立の施設であるが、当初の設立目的、建設費、毎年のランニングコスト及び近年の補修経費はどの程度か。抜本的検討をされていると思うが、進捗と課題を伺う。

老朽化による改修工事などが課題である

A 地域産業の振興並びに町民（市民）の健康増進及び福祉の向上を図るために設立されたものです。施設維持コストは年間約1億2700万円、施設改修工事に係る費用は平成28年度からの3カ年平均で約9500万円です。課題として、施設設備の老朽化により、継続していくためには更なる改修工事が必要となることなどがあげられます。

【その他の質問事項】

- 地区まちづくり協議会の活動について
- 海外姉妹都市交流事業について